

2024年7月 (No.sh0436)

## 第54回サントリー音楽賞受賞記念コンサート 井上道義(指揮)



©Hikaru.☆

### 井上道義、指揮者活動の最後を飾る演奏会

王道で最重要なベートーヴェン、シベリウスの真骨頂、ショスタコーヴィチの祝典序曲で大団円！

サントリーホールは2024年12月30日(月)15:00より大ホールで、「第54回サントリー音楽賞受賞記念コンサート 井上道義(指揮)」を開催します。

サントリー芸術財団は、1969年の創設以来、日本の洋楽発展に最も顕著な功績のあった個人または団体に「サントリー音楽賞」を贈呈しており、第54回(2022年度)は、指揮者の井上道義が受賞しました。受賞記念コンサートのプログラムは、2024年12月をもって指揮者活動の引退を公表している井上氏自身が「最後のコンサートに読売日本交響楽団と究極の解釈で演奏するのに相応しく、サントリーホールの空間にもぴたりと合う」という観点で悩みぬいた選曲になります。指揮者のキャリアの初期の頃よく取り組んだというメンデルスゾーンの序曲『フィンガルの洞窟』に始まり、王道にして最重要な作曲家ベートーヴェンの交響曲第6番「田園」、シベリウスの真骨頂 交響曲第7番、そしてスペシャリストならではのショスタコーヴィチの祝典序曲に取り組みます。骨のある活動を続けてきた他に類をみないマエストロが、指揮者活動の最後を飾る演奏会をどうぞお楽しみください。

〈贈賞理由より(2023年3月発表)〉

若くして頭角をあらわし、今年で77歳になるという年齢ならば、もはや「重鎮」や「巨匠」と呼ばれてもおかしくないのだが、井上道義をそんなふうと呼ぶ人はほとんどいない。これだけの活躍をみせながらも、その存在は強く未来を感じさせる。いまだに「若手」のようなのだ。

泰西名曲をしっかりとりあげる一方で、現代作品の開拓にも余念がない。あるいは、あえて道化のようにふるまいながらも、その音楽は実直で正統的。そんなさまざまな矛盾が、時として彼を異端のようにも見せてきたわけだが、しかし近年の演奏においては、その矛盾がいわば豊潤へと変化を遂げ、ゆたかに実っているように感じられる。(抜粋)

※公演詳細はこちらからご覧ください。 [https://www.suntory.co.jp/suntoryhall/schedule/detail/20241230\\_M\\_2.html](https://www.suntory.co.jp/suntoryhall/schedule/detail/20241230_M_2.html)

[チケットのお申し込み・お問合せ]

サントリーホールチケットセンター TEL 0570-55-0017 (10:00~18:00、休館日除く)

サントリーホール・メンバーズ・クラブWEB [suntoryhall.pia.jp](http://suntoryhall.pia.jp)

第 54 回サントリー音楽賞受賞記念コンサート  
井上道義（指揮）  
Commemorative Concert of the 54th Suntory Music Award  
Michiyoshi Inoue, Conductor

【日時】

2024 年 12 月 30 日（月）15:00 開演（14:20 開場）

【会場】

サントリーホール 大ホール

【出演】

指揮：井上道義

Michiyoshi Inoue, Conductor

読売日本交響楽団

Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

【曲目】 ※当初発表していた曲目から変更がございます。

メンデルスゾーン：序曲『フィンガルの洞窟』作品 26

Felix Mendelssohn: *The Hebrides*, Op. 26

ベートーヴェン：交響曲第 6 番 ヘ長調 作品 68 「田園」

Ludwig van Beethoven: *Symphony No. 6 in F Major*, Op. 68, “Pastorale”

シベリウス：交響曲第 7 番 ハ長調 作品 105

Jean Sibelius: *Symphony No. 7 in C Major*, Op. 105

ショスタコーヴィチ：祝典序曲 作品 96

Dmitry Shostakovich: *Festive Overture*, Op. 96

【主催】 サントリーホール

【共催】 KAJIMOTO

【協賛】 サントリーホールディングス株式会社

【チケット料金】

S 席 15,000 円 A 席 12,000 円 M 席（P ブロック） 12,000 円 U25 席 3,000 円

【チケット発売】

サントリーホール・メンバーズ・クラブ先行発売 8 月 2 日（金）10 時～8 日（木）

一般発売 8 月 9 日（金）10 時～

【チケット取り扱い】

サントリーホール・メンバーズ・クラブ WEB [suntoryhall.pia.jp](http://suntoryhall.pia.jp)

※メンバーズ・クラブは要事前登録（会費無料・WEB 会員は即日入会可）

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017（10:00～18:00、休館日を除く）

サントリーホール窓口（10:00～18:00、休館日を除く）

※18 時以降開演の公演がある場合は開演時刻まで営業

※先行期間中は窓口での販売は致しません。

チケットぴあ [t.pia.jp](http://t.pia.jp)

カジモト・イープラス [kajimotoeplus.jp](http://kajimotoeplus.jp)

ローソンチケット [l-tike.com](http://l-tike.com)

※U25 席はサントリーホールチケットセンター（WEB・電話・窓口）のみ取り扱い。25 歳以下、来場時に身分証提示要。お一人様 1 枚限り。

※都合により、内容が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。公演の最新情報はホームページにて発表いたします。（URL=suntory.jp/HALL/）

※就学前のお子様は同伴・入場いただけません。

## 【プロフィール】

### ■指揮：井上道義 Michiyoshi Inoue, Conductor

1946 年東京生まれ。桐朋学園大学卒業。71 年ミラノ・スカラ座主催グイド・カンテッリ指揮者コンクールに優勝して以来、一躍内外の注目を集め、世界的な活躍を開始する。ニュージーランド国立交響楽団首席客演指揮者、新日本フィルハーモニー交響楽団音楽監督、京都市交響楽団音楽監督、大阪フィルハーモニー交響楽団首席指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢音楽監督を歴任し、斬新な企画と豊かな音楽性で一時代を切り拓いた。シカゴ響、ベルリン放送響、ミュンヘン・フィル、スカラ・フィル、レニングラード響、ベネズエラ・シモン・ボリバル響などにも登場している。

2007 年には日露 5 つのオーケストラとともに「日露友好シヨスタコーヴィチ交響曲全曲演奏プロジェクト」を実施し、音楽・企画の両面で大きな成功を収めた。14 年 4 月、病に倒れるが同年 10 月に復帰を遂げる。15・20 年全国共同制作オペラ『フィガロの結婚』（野田秀樹演出）、17 年大阪国際フェスティバル「バーンスタイン：ミサ」（演出兼任・国内で自身 23 年ぶり）、19 年全国共同制作オペラ『ドン・ジョヴァンニ』（森山開次演出）、23 年「井上道義：A Way from Surrender ～降福からの道～」を、いずれも総監督として率い、既成概念にとらわれない唯一無二の舞台を作り上げている。

09 年「第 6 回三菱 UFJ 信託音楽賞奨励賞（オペラ『イリス』）」、10 年企業メセナ協議会「音もてなし賞（京都ブライトンホテル・リレー音楽祭）」、16 年度「渡邊曉雄音楽基金特別賞」「東燃ゼネラル音楽賞」、18 年「大阪府文化賞」「大阪文化祭賞」「音楽クリティック・クラブ賞」、19 年 NHK 交響楽団より「有馬賞」を受賞。オーケストラ・アンサンブル金沢桂冠指揮者。

### ■読売日本交響楽団 Yomiuri Nippon Symphony Orchestra

1962 年、クラシック音楽の振興と普及のために読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビのグループ 3 社を母体に設立された。創立以来、世界的な指揮者、ソリストと共演を重ねている。現在、常任指揮者をセバスティアン・ヴァイグレが務め、サントリーホールや事業提携を結んでいる東京芸術劇場などで演奏会を多数開催。2017 年 11 月にはシルヴァン・カンブルラン指揮のメシアン『アッシジの聖フランチェスコ』（全曲日本初演）が好評を博し、第 49 回サントリー音楽賞、『音楽の友』誌の「コンサート・ベストテン」第 1 位、レコード・アカデミー賞（特別部門）を受賞。22 年 2 月には文化庁芸術祭大賞を、24 年 7 月には三菱 UFJ 信託音楽賞奨励賞を受賞した。演奏会などの模様は日本テレビで放送されている。

<https://yomikyo.or.jp/>